

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	川重商事株式会社 代表取締役社長 紀山 滋彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	神戸市中央区海岸通8番地

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■電気小売事業 東京エリア、中部エリアおよび関西エリアにおいて、主に中堅または中小規模のオフィスビルや工場等の需要家に電力小売事業を実施しております。</p> <p>■発電事業 平成29年7月現在自社発電所は保有しておりませんが、全国で再生可能エネルギーによる発電所を建設するべくFSを行っております。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力・環境部 電力課	
	連絡先	電話番号	03-6744-1003
		ファクシミリ番号	03-6744-1100
		電子メールアドレス	pps-ksc@corp.khi.co.jp
公表の 担当部署	名称	電力・環境部 電力課	
	連絡先	電話番号	03-6744-1003
		ファクシミリ番号	03-6744-1100
		電子メールアドレス	pps-ksc@corp.khi.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日 ~ 2018年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	川重商事株式会社 東京本社
		所在地:	東京都千代田区神田錦町3丁目13番
		閲覧可能時間	営業時間中(平日9時~18時)
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	2

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.411	0.460	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.340	0.346	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.383	0.424	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・LNG火力発電を主な調達電源とし、それに卸電力取引所や常時バックアップによる調達を組み合わせることにより  
石炭焚きより排出係数の低い電力を提供しております。  
・バイオマスをはじめとした再生可能エネルギーによる発電所の建設を計画し、FSを実施しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーによる発電所の設立を計画中であり、また他者購入電力においても再生可能エネルギーによるものを検討しており、小売供給における再生可能エネルギーの割合拡大に努めます。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

自治体の保有する清掃工場の廃棄物発電による電力調達を目指します。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・LEDや高効率空調機器などの省エネ機器の販売を行っております。
- ・需要家に対して電気使用量削減に向けて各種提案を行っております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・営業車にハイブリットカーをはじめとしたエコカーを導入しております。
- ・ISO14001認証を取得し、環境負荷の低減に取り組んでおります。
- ・グリーン購入を推進しております。

# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	関西電力株式会社 取締役社長 岩根 茂樹
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	大阪市北区中之島3丁目6番16号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>◆発電設備(2016年度末)</p> <p>水力                      : 823万kW                      火力                      : 1,941万kW                      原子力                    : 893万kW                      新エネルギー         : 1万kW                      &lt;合計&gt;                    3,657万kW(※)                      ※ 四捨五入の関係で、掲載数値の合計値と一致しません。</p> <p>なお、現在、都内において自社で所有する発電所はありません。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	関西電力株式会社 環境室 地球環境グループ	
	連絡先	電話番号	050-7104-0436
		ファクシミリ番号	06-6441-3549
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	関西電力株式会社 環境室 地球環境グループ	
	連絡先	電話番号	050-7104-0436
		ファクシミリ番号	06-6441-3549
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(環境室)に問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	3

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.509	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	—	0.559	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.493	

(注)

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・原子力や水力の利用率低下などの悪化要因があったものの、姫路第二発電所の高効率天然ガス発電設備の利用率増加や相生発電所における天然ガスの利用開始および固定価格買取制度による再生可能エネルギーの利用増加などの低炭素化に向けた取組みにより、調整後の排出係数は、0.493kg-CO<sub>2</sub>/kWhとなりました。(国への報告値であり、正式には「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国からCO<sub>2</sub>排出係数の実績値が公表されます。)

(注) 当社は、お客さまがCO<sub>2</sub>排出量の算定に用いる全電源のCO<sub>2</sub>排出係数を管理・公表しており、火力発電だけでなく、原子力、再生可能エネルギーを含めた全電源のミックスによってCO<sub>2</sub>排出係数の低減に努めています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	916	16.19%
(FIT電気)	—	—	212	3.75%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・ 既設水力発電所の設備改修時において、水力発電の出力向上に取り組んでいます。  
 ・ 当社のグループ会社((株)関電エネルギーソリューション)が、兵庫県朝来市において、未利用木材を燃料とする5,600kWの朝来バイオマス発電所の運転を開始しました。また、兵庫県宍粟市において1,980kWの山崎太陽光発電所の運転を開始しました。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	—	47	0.83%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・ 廃棄物焼却処理の余熱や高炉ガスを利用して発電した電力を調達しています。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・ 火力発電所については設備や運用に関する対策を継続的に行った結果、火力発電所の総合熱効率(低位発熱量基準)は47.6%となりました。

なお、現在、都内において自社で所有する火力発電所はありません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・ ご家庭のお客さまに対して、インターネットを活用した電気ご使用状況やCO2排出量の見える化サービス「はびeみる電」のご紹介を実施し、省エネ・省コスト・省CO2に貢献しました。
- ・ 当社のホームページにおいて、再生可能エネルギーの種類、特徴、課題や、当社の再生可能エネルギーに関する取組み等を掲載し、再生可能エネルギーの理解促進に貢献しました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・ 事務所における照明の適正管理などの省エネルギー対策を実施しています。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社関電エネルギーソリューション 代表取締役社長 白井 良平
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市北区中之島2丁目3番18号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業 電力自由化対象事業所への小売を目的とした電気事業を実施している。</p> <p>・発電事業 PPS事業等の実施のために、千葉県に子会社が所有する天然ガスコンバインド火力発電所10万kW級がある。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新電力本部 需給調整部	
	連絡先	電話番号	03-6369-8747
		ファクシミリ番号	03-3562-4500
		電子メールアドレス	pps-transmission_ml@kenes.jp
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(新電力本部)へ問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	30	53

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.462	0.533	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.410	0.407	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.447	0.530	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<p>・他社所有発電所からのFIT電源による電力の活用により、排出係数の削減に取り組んだ。</p>
---

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1,671	2.59%	6,073	6.16%
(FIT電気)	1,671	2.59%	6,073	6.16%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<p>・H28年度4月1日より、新たに3太陽光発電所と受給契約を締結し、再生可能エネルギー利用促進した。</p>
--



## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・前年度については、未利用エネルギー等の調達実績はなし。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・子会社が所有する天然ガスコンバインド火力発電所において、火力発電熱効率の維持・向上に取り組んでいる。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客さまに電気使用量のお知らせサービスを実施するなど、お客さまが効率的に電気をご利用いただけるような働きかけを行いました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・関西電力グループの一員として「関西電力グループ環境行動方針」に基づき、省エネや省CO2などに取り組みました。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	キヤノンマーケティングジャパン株式会社 代表取締役社長 坂田 正弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区港南2-16-6

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、卸電力供給者、卸電力取引所等からの電力、及び工場の余剰電力等を購入し、オフィスビル、大規模店舗等の電力自由化対象の需要家へ、電力販売事業を行っています。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	BSマーケティング統括本部 ビジネスマーケティングセンター OES事業推進課	
	連絡先	電話番号	03-6719-9890
		ファクシミリ番号	03-6719-8128
		電子メールアドレス	denki-kouri@canon-mj.co.jp
公表の 担当部署	名称	BSマーケティング統括本部 ビジネスマーケティングセンター OES事業推進課	
	連絡先	電話番号	03-6719-9890
		ファクシミリ番号	03-6719-8128
		電子メールアドレス	denki-kouri@canon-mj.co.jp

## 第2号様式 その2

### (4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せの際は、メール・FAX等により対応致します。			

### 2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	19.13

### 3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.532	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.532	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・バランシンググループとして、契約している発電所では、可能な限り、熱効率が向上する供給パターンを採用しました。  
 ・バランシンググループとして、排出係数の良い発電者・事業者からの調達に努めました。  
 ・バランシンググループとして、大規模な石炭火力発電所からの電力調達を開始したため、排出係数が想定より悪くなりました。

### 4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・前年度の電気の調達元の再生可能エネルギー利用率は36.85%(FIT電気利用率は14.27%)でした。  
 ・バランシンググループとして、現時点では、自社等発電所において、再生可能エネルギーによる発電はありません。  
 ・バランシンググループとして、再生可能エネルギーによる発電所からの余剰電力利用(購入)、FIT電気の購入の推進に努めました。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・前年度の電気の調達元の未利用エネルギー利用率は1.57%でした。
- ・バラシンググループとして、比較的大きな規模の清掃工場からの余剰電力の調達ができました。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・バラシンググループとして、現状、自社・子会社にて発電設備を保有しておりません。
- ・バラシンググループとして、契約している発電所で、こちらの要望で供給パターンが指定できる発電所では可能な限り、熱効率が向上する供給パターンを採用するよう努めました。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・省エネ意識の向上、需要家に対して節電の呼びかけを行っています。
- ・お客様の省エネ意識に貢献できるようにホームページ等で電力使用量等のデータの提供を開始しました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・本社での対策として、夏場のエアコン設定温度上げなど、節電に努めました。
- ・会社としては、自動車を保有せず、温室効果ガスの削減に努めました。
- ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。
- ・室内照明について、不要時は消灯するよう努めました。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	九電みらいエナジー株式会社 代表取締役 穂山 泰治
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目4番8号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 平成28年4月より、関東エリア(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県の一部)の低圧および高圧需要家様向けに電力の小売販売を実施しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	営業本部	
	連絡先	電話番号	0570-031-031
		ファクシミリ番号	092-982-2752
		電子メールアドレス	eigyout@q-mirai.co.jp
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せ受付時に個別に対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.509	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.474	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源調達に当たって、二酸化炭素排出係数を考慮した対応を行っております。</li> <li>・また、二酸化炭素の国内認証排出削減量を購入することによって、平成28年度における温対法上の二酸化炭素調整後排出係数を「0.280kg-CO<sub>2</sub>/kWh」まで削減することに成功しました。</li> </ul>
---

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業者からの調達を検討して参りましたが、未だ実績がないため、今後においても、引き続き検討を進めて参ります。</li> </ul>
---

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	—	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・他事業者からの調達を検討して参りましたが、未だ実績がないため、今後においても、引続き検討を進めて参ります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・東京都内で火力発電所を有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・弊社とご契約いただいている需要家様に対し、弊社会員サイト(無料)にて、日々の使用電力量を30分単位でグラフ化し、ひと目で確認いただけるサービスを提供することで、需要家様の節電意識向上に寄与しております。  
・また、上記会員サイトにおいては、過去の電気ご使用実績を最大で2年分確認いただくことができるため、前年・前々年と現在の使用電力量とを比較いただくことができます。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・弊社は主に九州で、再生可能エネルギーの発電事業を実施しており、太陽光、風力、地熱、バイオマス、水力と、再生可能エネルギー5電源すべての開発・運営を実施しております。  
・九州電力グループの信頼と技術を活かし、調査・計画・建設・運営管理を一貫体制で行い、長期安定稼動を実現することで、再生可能エネルギーの普及に尽力しております。

# エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

### (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社グローバルエンジニアリング 代表取締役 大下 明
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市東区香椎1-1-1 ニシコーリビング香椎2F

### (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用発電設備販売、メンテナンス事業</li> <li>・ダイヤモンドリソース事業 調整力(類型2)、ネガワット取引(類型1)を実施</li> <li>・エネルギーマネジメントサービス BEMSアグリゲーター、エネルギーマネジメント事業者として登録</li> <li>・新電力事業 小売電気事業者としての電力卸・小売供給事業</li> <li>・発電事業 九州地域に石油火力発電所(約1,000kW)を保有し、太陽光発電を2015年4月より調達</li> <li>・社会実証事業 経済産業省が行うバーチャルパワープラント実証事業への参加</li> </ul>

### (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	技術部	
	連絡先	電話番号	03-6452-9801
		ファクシミリ番号	03-6452-9802
		電子メールアドレス	ge.denki01@g-eng.co.jp
公表の 担当部署	名称	技術部	
	連絡先	電話番号	03-6452-9801
		ファクシミリ番号	03-6452-9802
		電子メールアドレス	ge.denki01@g-eng.co.jp



## 第2号様式 その2

### (4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署への問合せ			

### 2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	7	17

### 3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.479	0.479	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.456	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.458	0.486	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電所からの供給を引き続き行い、再生可能エネルギーの導入量を増加。</li> <li>・都内の事業者に対して、デマンドレスポンスを用いた負荷平準化の取り組みを実施。</li> </ul>
--

### 4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	539	3.63%	2,334	6.49%
(FIT電気)	539	3.63%	2,334	6.49%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電所からの調達を実施。2015年4月より供給開始。引き続き積極的な導入の推進。</li> </ul>
--

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・未利用エネルギー等による発電所からの電源調達の計画はないため、取組実績等なし。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・日常点検をととして、燃料消費量等の把握に努めることにより早期に異常を発見する体制を整え、実践。
- ・燃費の高い負荷率で運転できるように、他の電源調達と調整し、運用。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・エネルギーの見える化を推進するために、お客様毎にインターネットを通じてエネルギー使用量の閲覧する事を可能とするシステムの運用を継続開発。
- ・エネルギーマネジメントシステムを通し、お客様にエネルギー使用量の見える化の実施を継続。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・お客様の省エネ・CO2削減などの課題を解決するため、エネルギーマネジメントシステムなど総合的な提案の実施を継続。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	KDDI株式会社 代表取締役社長 田中 孝司
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエアタワー

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業 昨年4月の電力小売の全面自由化に伴い電力小売事業に参入しました。ICTの活用によってより効率的でより利便性の高いエネルギーサービスを提供し、お客さまの新たなライフスタイル創造に貢献することを目的に、約4,400万のauユーザーを中心に全国で「auでんき」を提供しています。 また、電気料金と通信料金とのセット割引やスマートフォンを活用した便利でおトクなサービスを提供しています。</p> <p>・発電事業 国内7ヵ所の自社保有地など(栃木県小山市、茨城県古河市、茨城県行方市など)の一部に太陽光発電設備を建設、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」にもとづき、発電した電力を旧一般電気事業者に販売しています。昨年12月に発電事業の要件を満たしたため、発電事業届出を行いました。</p> <p>・その他 携帯電話サービス等を提供する移動通信事業、市内・長距離・国際通信サービス、インターネットサービス等を提供する固定通信事業を主な事業としています。 また、ICT分野におけるエコロジーガイドライン協議会の一員として、エコロジーガイドラインの策定に参画し、省エネ機器の普及促進に取り組んでいます。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギービジネス企画部 企画グループ	
	連絡先	電話番号	03-6678-1064
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	エネルギービジネス企画部 企画グループ	
	連絡先	電話番号	03-6678-1064
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署への問い合わせ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	71.73

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率	
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.564		100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	—	0.559		
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.586		

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネ発電事業者からの調達拡大について、継続して努めています。</li> </ul>
--

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	13,887	10.91%
(FIT電気)	—	—	13,887	10.91%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が進めるエネルギー政策の動向を踏まえて、自然エネルギーの導入拡大に努めています。</li> <li>・持続的発展が可能な社会の実現を目指し、環境のために役立つ新規ビジネスの発掘・推進に努めています。</li> <li>・再エネ発電事業者からの調達拡大について、継続して努めています。</li> </ul>
---

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	—	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギー等を利用した電気の供給は計画していません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所は保有していません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・一般家庭向けにスマートフォンを活用した便利でおトクな電力の見える化サービス「auでんきアプリ」を提供し、省エネの喚起に取り組んでいます。  
 ・法人のお客様に対する省エネルギー診断業務を積極的に推進し、需要抑制や電気の効率的な利用の喚起に取り組んでいます。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・全国で100局のau携帯電話基地局では、通常の商用電力に加え、太陽光パネルによる発電、深夜電力により蓄電池に充電された電力を時間ごとに効率よく供給する電力制御技術(トライブリッド)を活用し、CO2排出量を最大約30%削減しています。  
 ・全国の大型通信局の一部、7つのau携帯電話基地局のほぼ全ての電力は、太陽光などの自然エネルギーを利用しています。  
 ・夏は「ノーネクタイ・ノー上着運動(6月1日～9月末)」、冬は「省エネ活動(12月1日～3月末)」を継続して、空調使用量を抑制をしています。  
 ・KDDIグループとして、ISO14001の認証取得(2006年度)を行い、その活動を継続しています。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社洗陽電機 代表取締役 乾 正博
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	兵庫県神戸市東灘区住吉宮町3丁目7番14号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■事業の三大柱「エネルギークリエーション」「エネルギートレード」「エネルギーセービング」を中心に、エネルギーの川上から川下までを組み合わせた独自のシナジーを創出し、エネルギーの総合プロデュース&amp;エンジニアリング企業をめざします。</p> <p>【エネルギークリエーション】 現在、全国規模で再生可能エネルギー(バイオマス、太陽光、地熱、水力など)の電源開発と売電事業を進めています。</p> <p>【エネルギートレード】 2016年8月現在、全国7エリア(東北・東京・中部・関西・中国・四国・九州)で、特別高圧、高圧、低圧のお客さまに電力を供給しております。</p> <p>【エネルギーセービング】 エネルギーセービング事業では、「エネマネ事業者」「BEMSアグリゲータ」「MEMSアグリゲータ」の採択を受け、全国で省エネサービス事業を展開しています。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギートレードグループ 需給管理部	
	連絡先	電話番号	078-851-8874
		ファクシミリ番号	078-851-8829
		電子メールアドレス	<a href="mailto:koyopps@koyoelec.com">koyopps@koyoelec.com</a>
公表の 担当部署	名称	IR・広報 秘書担当	
	連絡先	電話番号	078-851-8869
		ファクシミリ番号	078-851-8829
		電子メールアドレス	<a href="mailto:contact@koyoelec.com">contact@koyoelec.com</a>

## 第2号様式 その2

### (4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日			～	2018年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:					
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	株式会社洗陽電機				
		所在地:	神戸市東灘区住吉宮町3丁目7番14号				
		閲覧可能時間	10:00～17:00				
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:					
		入手方法:					
	<input type="checkbox"/> その他						

### 2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	11

### 3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.471	0.510	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	0.000	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.474	0.478	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

官公庁の廃棄物発電などの入札や相対契約を積極的に実施しております。

### 4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	165	6.21%	967	4.40%
(FIT電気)	165	6.21%	967	4.40%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は全国で、太陽光、水力、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギーの開発を手がけております。新電力事業の開始にあたり、既存顧客や当社が所有するFIT電源からの受給など、再生可能エネルギー由来の電力調達を拡大してきました。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	146	0.67%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

官公庁の廃棄物発電などの入札や相対契約を積極的に実施しております。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を所有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

■当社は経営理念に「未来の子どもたちのために より良い地球環境を残します」を掲げております。  
■当社事業の重要な柱である「クリーンエネルギーの開発事業」を通し、地球環境に貢献する当社事業をご紹介します。  
■高圧のお客さまには、WEB上で電力使用量がリアルタイムで閲覧できるサイトを提供しております。この電力使用の「見える化」を実施し、省エネルギーを促しております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

全社を挙げて、「クールビズ」「ウォームビズ」、昼休みの消灯などの節電に積極的に取り組んでおります。



# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	サーラeエナジー株式会社 代表取締役社長 松橋 正行
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	愛知県豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 一般のご家庭・店舗などの低圧、工場・オフィスビル・商業施設などの高圧電力顧客を対象に電力小売事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	総務	
	連絡先	電話番号	0532-57-7250
		ファクシミリ番号	0532-51-1204
		電子メールアドレス	salaenergy@sala.jp,ko16838@sala.jp
公表の 担当部署	名称	総務	
	連絡先	電話番号	0532-57-7250
		ファクシミリ番号	0532-51-1204
		電子メールアドレス	salaenergy@sala.jp,ko16838@sala.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日 ~ 2018年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	サーラeエナジー(株)受付
		所在地:	愛知県豊橋市駅前大通一丁目55番地サーラタワー
		閲覧可能時間	9:30~17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.14

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.532	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.652	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<p>・調達元事業者に対し、天然ガス発電からの電気供給量の拡大と再生可能エネルギーにより発電した電気の調達を依頼しました。</p>
---

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<p>・調達元事業者に対し、再生可能エネルギーにより発電した電気の調達を依頼しました。</p>
---

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・調達元事業者に対し、未利用エネルギー等により発電した電気の調達を依頼しました。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社にて火力発電所を有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・当社が運営するポータルサイトにて、お客さまの日別・時間別使用量に加え、曜日別・月別の平均使用量をグラフで表示し、お客さまの省エネ活動及び省エネ意識の向上を図りました。

・当社(または販売代理店)によるお客さま先への省エネ・節電の周知を実施しました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・自社における省エネ・節電に努めました。

・エコ運転の推進(無駄なアイドリングをやめる、急発進・急加速・急ブレーキをやめる等)等を推進しました。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社サイサン 代表取締役社長 川本 武彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-5

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	東北・東京・中部・九州電力管内で、低圧および高圧の需要家へ電力供給事業を実施しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社サイサン エネルギー事業部営業企画課	
	連絡先	電話番号	03-6777-0230
		ファクシミリ番号	03-6777-0228
		電子メールアドレス	<a href="mailto:info-ene@saisan.co.jp">info-ene@saisan.co.jp</a>
公表の 担当部署	名称	株式会社サイサン エネルギー事業部営業企画課	
	連絡先	電話番号	03-6777-0230
		ファクシミリ番号	03-6777-0228
		電子メールアドレス	<a href="mailto:info-ene@saisan.co.jp">info-ene@saisan.co.jp</a>

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2017年08月01日	～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へ問い合わせ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	10

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.400	0.454	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.045	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.518	0.457	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーなど環境負荷の低い電源を積極的に調達しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	790	24.14%	1,662	7.27%
(FIT電気)	790	24.14%	1,662	7.27%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

木質バイオマス発電所から電源を調達しました。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーで発電された電気の調達を検討しております。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

企業の生産活動に支障をきたさない範囲で節電をお願いしております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーの普及促進を目指し、メガソーラー発電所を建設・運営しております。  
オフィスにて、夏はクールビズ、冬はウォームビズ活動を実施しております。

# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社サニックス 代表取締役 宗政 寛
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市博多区博多駅東2-1-23

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	●小売電気事業 弊社は、東北、関東、中部、関西、中国、九州エリアにて、電力の小売事業を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	092-436-8898
		ファクシミリ番号	092-233-1343
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	092-436-8898
		ファクシミリ番号	092-233-1343
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へ問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	4

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.465	0.446	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.750	0.515	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数削減に向けて、環境負荷の低い電力の調達に努めています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	60	13.20%	744	8.77%
(FIT電気)	60	13.20%	744	8.77%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT電気(太陽光)を調達していますが、今後も再生可能エネルギーによる電力の調達に努めています。



## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーについては利用していません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社等発電所を所有していません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電力使用状況を各需要家に提供しています。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

電気使用量、紙使用量の削減に努めています。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	サミットエナジー株式会社 代表取締役 小澤 純史
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区晴海1-8-11

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業、特定送配電事業 弊社は、小売電気事業、特定送配電事業を営んでおります。2001年7月1日より、関西電力管内での小売を皮切りに、同年10月1日からは中部電力管内で、2004年7月1日から東京電力管内、2005年7月1日から東北電力管内、2009年6月より九州電力管内、2015年3月より北海道電力管内、2017年1月より中国電力管内で、小売電気事業を開始し現在に至っております。</p> <p>・発電事業 関係会社においては、発電事業を営んでおります。発電事業所の概要は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サミット美浜パワー株式会社(千葉県千葉市) 57.5MW (火力:都市ガス)</li> <li>・サミット明星パワー株式会社(新潟県糸魚川市) 50MW (火力:木屑/石炭)</li> <li>・サミット小名浜エスパワー株式会社(福島県いわき市) 56MW (火力:石炭)</li> <li>・サミット半田パワー株式会社(愛知県半田市) 75MW(木質バイオマス、石炭) 2017年6月商業運転開始</li> <li>・サミット酒田パワー株式会社(山形県酒田市) 50MW(木質バイオマス、石炭) 建設中(2018年5月商業運転開始予定)</li> </ul>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-5166-4492
		ファクシミリ番号	03-5166-6271
		電子メールアドレス	summit@summit-energy.co.jp
公表の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-5166-4492
		ファクシミリ番号	03-5166-6271
		電子メールアドレス	summit@summit-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	<a href="https://www.summit-energy.co.jp/">https://www.summit-energy.co.jp/</a>		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	84	147

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.425	0.524	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.409	0.469	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.530	0.576	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- ・グループ会社であるサミット明星パワー(株)(木屑バイオマス発電所)より、再生可能エネルギーで発電された電気の調達。
- ・新たなバイオマス発電所の開発(愛知県半田市:2017年6月運転開始、山形県酒田市:建設中:2018年5月運転開始予定など)と、当該発電所からの電気の調達。
- ・太陽光発電や風力発電からの調達も増やす努力(調整力との兼ね合い)。
- ・J-Credit償却(2017年度は164,000t-CO<sub>2</sub>を無効化)による温対法調整後排出係数の低減

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	67,467	34.12%	110,429	39.40%
(FIT電気)	32,898	16.64%	53,199	18.98%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・関係会社であるサミット明星パワー(株)(木屑バイオマス発電所)より、再生可能エネルギーを調達しております。
- ・バイオマス発電所の開発、風力発電所の開発に取り組んでおります。
- ・太陽光発電や風力発電からの調達も増やす努力(調整力との兼ね合い)も進めております。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
12,756	6.45%	3,141	1.12%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度に引き続き、平成27年度も調達している廃棄物発電所において未利用エネルギーの活用をしております。今後も同様の取組を行っている発電所からの調達を検討しております。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・サミット美浜パワー: 発電設備のDSSを採用しているが、運転中は極力定格出力に近い運転点において運用し発電効率向上を保つ取り組みを行っており、かつ蒸気を併給する事で総合効率の向上をはかっています。また、更なる総合効率の向上に向け、発電設備の増設を実施し、平成28年1月より営業運転を開始しております。
- ・サミット明星パワー: 木屑の収集及びPKS(椰子殻)を使用し、バイオマス燃料の混焼比率を高める努力を継続的に行っております。また、設備の安定運転に努めると共に、故障の再発防止に継続して取組み、ロスに努めております。同発電所においても、東日本における供給力が逼迫する局面においては稼働率を上げる運用を行っております。
- ・サミット小名浜エスパワー: 東日本大震災で蒸気の供給先が被災したことにより総合効率が低下しておりますが、効率回復のために余剰蒸気を有効活用すべく蒸気タービンの増設工事を行っており、平成28年12月より営業運転を開始しております。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家の皆様に、新エネルギー等についての情報や、その他地球温暖化対策推進のための情報を提供しております。
- ・一部需要家に対して電気の見える化サービス(30分毎の電気使用量をWEB上で確認できるサービス)の提供を開始しており、提供範囲を広げる方針で取り進めております。
- ・サミット明星パワーにて発生したグリーン電力環境価値の販売活動を行っております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・ごみの分別・減量・リサイクルを推進すべく、オフィスビル全体で分別品目を統一し、品目別ゴミ計量システムを導入し利用者毎・品目毎のゴミ排出量を計量しております。
- ・省エネルギー対策として、空調設定温度の省エネモード化、ノーネクタイの実施、夜間・休日のOA機器電源OFF等による電気量削減・空調負荷低減に取り組んでおります。
- ・弊社の子会社であるサミット明星パワー(株)がグリーン電力認証機構によりグリーン電力認証を取得しました。東京都内各施設様を始めとする需要家の皆様への販売活動を積極的に行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社シーエナジー 代表取締役社長 佐古 直樹
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	愛知県名古屋市中区新栄2丁目19番6号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>【電力小売販売事業】 弊社は卸元の「ダイヤモンドパワー株式会社」から電力を購入し、電力自由化対象の需要家への電力小売事業を行っています。</p> <p>【電力発電事業】 再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用した太陽光発電事業を実施しています。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	お客さまサービス課	
	連絡先	電話番号	052-238-0658
		ファクシミリ番号	052-238-0659
		電子メールアドレス	<a href="mailto:cenergy.denki@cenergy.co.jp">cenergy.denki@cenergy.co.jp</a>
公表の 担当部署	名称	お客さまサービス課	
	連絡先	電話番号	052-238-0658
		ファクシミリ番号	052-238-0659
		電子メールアドレス	<a href="mailto:cenergy.denki@cenergy.co.jp">cenergy.denki@cenergy.co.jp</a>

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2017年08月01日	～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せの際は、メール・FAX等により対応致します。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.532	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	—	—	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.591	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・バランシンググループとして、契約している発電所では、可能な限り、熱効率が向上する供給パターンを採用しました。  
 ・バランシンググループとして、排出係数の良い発電者・事業者からの調達に努めました。  
 ・バランシンググループとして、大規模な石炭火力発電所からの電力調達を開始したため、排出係数が想定より悪くなりました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	0	0.00%
(FIT電気)	—	—	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・前年度の電気の調達元の再生可能エネルギー利用率は36.85%(FIT電気利用率は14.27%)でした。  
 ・バランシンググループとして、現時点では、自社等発電所において、再生可能エネルギーによる発電はありません。  
 ・バランシンググループとして、再生可能エネルギーによる発電所からの余剰電力利用(購入)、FIT電気の購入の推進に努めました。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・前年度の電気の調達元の未利用エネルギー利用率は1.57%でした。
- ・バランシンググループとして、比較的大きな規模の清掃工場からの余剰電力の調達ができました。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・バランシンググループとして、現状、自社・子会社にて発電設備を保有しておりません。
- ・バランシンググループとして、契約している発電所で、こちらの要望で供給パターンが指定できる発電所では可能な限り、熱効率が向上する供給パターンを採用するよう努めました。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・省エネ意識の向上、需要家に対して節電の呼びかけを行っています。
- ・お客様の省エネ意識に貢献できるようにホームページ等で電力使用量等のデータの提供を開始しました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・本社での対策として、夏場のエアコン設定温度上げなど、節電に努めました。
- ・室内照明について、不要時は消灯するよう努めました。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社G-Power 代表取締役 大野 雅弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区六本木1-8-7

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は、小売電気事業者として、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく調整後排出係数がゼロとなる電気の販売を目的として創立されました。今後も供給先の拡大を通じて社会に広くCO2負荷の低い電力を浸透させていきたいと思ひます。現在、自社発電所は所有していませんが、他社からの再生可能エネルギーの調達比率を最大化してまいります。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	営業第5チーム	
	連絡先	電話番号	03-5544-8561
		ファクシミリ番号	03-5544-8404
		電子メールアドレス	fp-chotatsu@f-power.co.jp
公表の 担当部署	名称	営業第5チーム	
	連絡先	電話番号	03-5544-8561
		ファクシミリ番号	03-5544-8404
		電子メールアドレス	fp-chotatsu@f-power.co.jp



第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	株式会社F-Power		
		所在地:	東京都港区六本木1-8-7		
		閲覧可能時間	平日 10:00-17:00		
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せがあればメールやFAXで開示			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.000	0.000	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.000	0.000	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

清掃工場余剰電力等による調達、再生可能エネルギー電源を持つ他社との受電契約、再生可能エネルギー電源の新規開発などに積極的に取り組んで参ります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	312	100.00%	370	100.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

弊社は排出係数ゼロの電源のみを調達しており、今後もその取り組みを実行して参ります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

清掃工場からの余剰電力購入(入札等)に積極的に参加、確保の努力を継続しております。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・デマンドレスポンスなど節電協力のメニューの展開、システム開発
- ・電気事業者の排出係数について、調整後のみならず実排出係数の低減によるアピール、意識啓蒙
- ・省エネルギー診断のコンサルティングや協力会社との連携

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社内では省エネ、節電対策を取ることで社員の意識改革を行っております。モニターの節電設定、クールビズの奨励、空調温度の28度設定などを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	JAG国際エナジー株式会社 代表取締役 増田 雄輔
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内三丁目1番1号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	再生可能エネルギー発電施設の開発、EPC(設計・調達・建設)、O&M(運営管理)、及び関連するコンサルティング、電力小売事業、不動産の開発・賃貸・仲介・コンサルティング、エネルギーソリューション、アセットマネジメント・プロパティマネジメント、コンストラクションマネジメント、建築設計・監理・施工

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力部	
	連絡先	電話番号	03-4476-8054
		ファクシミリ番号	03-3217-1811
		電子メールアドレス	<a href="mailto:info_denryoku@kk-grp.jp">info_denryoku@kk-grp.jp</a>
公表の 担当部署	名称	企画管理部	
	連絡先	電話番号	03-4476-8050
		ファクシミリ番号	03-3217-1811
		電子メールアドレス	<a href="mailto:info_denryoku@kk-grp.jp">info_denryoku@kk-grp.jp</a>

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	お問合せに対し、個別に対応します。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.518	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.482	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギー発電事業者と交渉を実施。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギー発電事業者と交渉を実施。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所の保有はございません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・太陽光発電所の開発を継続し、バイオマス発電所、風力発電所については発電所建設に向けた動きを継続して参ります。
- ・需要家向けにシステム上で30分毎の使用電力量を公開し、省エネ意識の向上を促進して参ります。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・太陽光開発グループ、風力グループ、バイオマスグループを設置しており、今後も再生エネルギー発電事業を推進して参ります。
- ・オフィスの節電・空調の温度設定。クールビズを実施しています。

# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	JXTGエネルギー株式会社 代表取締役社長 杉森 務
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区大手町一丁目1番2号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>JXTGエネルギーは、旧JXエネルギーと旧東燃ゼネラル石油の経営統合により、2017年4月1日に発足しました。</p> <p>2003年度より当社根岸製油所の自家発電設備を利用し、特定規模電気事業を開始しました。 2008年度には電源の主力となる川崎天然ガス発電所を開所し、コスト競争力と環境への配慮の両立を目指した電源の拡充を進めてまいります。</p> <p>※本報告書では旧JXエネルギー株式会社の実績を報告いたします。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	リソーシズ&パワーカンパニー 電力事業企画部 電力業務グループ	
	連絡先	電話番号	03-6257-7246
		ファクシミリ番号	03-6213-3482
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	リソーシズ&パワーカンパニー 電力事業企画部 電力業務グループ	
	連絡先	電話番号	03-6257-7246
		ファクシミリ番号	03-6213-3482
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	<a href="http://www.noe.jxtg-group.co.jp/csr/">http://www.noe.jxtg-group.co.jp/csr/</a>	
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:		
		入手方法:		
	<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	517	634

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率	
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.496	0.430		100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.480	0.353		
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.474	0.398		

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・2009年に天然ガスを燃料とした高効率で環境負荷の低い川崎天然ガス発電所が通年稼働を開始し、小売の主力電源となっています。  
 ・再生可能エネルギー電源の開発、調達を進めており、柿の沢水力発電所、川崎バイオマス発電所に加え、2016年度より下田温泉バイナリー発電所からも電力調達を開始しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	134,202	12.88%	95,388	6.46%
(FIT電気)	11,381	1.09%	12,131	0.82%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・再生可能エネルギー電源の開発と調達に努めており、引き続き柿の沢水力発電所、川崎バイオマス発電所から電力の調達を行い、2016年度より下田温泉バイナリー発電所からも電力調達を開始しました。  
 (2015年度より柿の沢水力発電にFIT適用)

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
52,709	5.06%	56,009	3.79%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・仙台製油所では、精製装置から発生する副生ガスを利用した発電を行っており、また発電設備から発生した排熱を回収して再利用するなど、未利用エネルギーの効率的利用に努めています。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・2009年に天然ガスを燃料とした高効率で環境負荷の低い川崎天然ガス発電所が通年稼働を開始し、小売の主力電源となっています。

・熱効率の向上を図るため、安全安定操業に努めています。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・2011年7月より「消費電力管理システム」を特別高圧・高圧の需要家へ展開し、インターネット上で消費電力状況を照会可能としました。2016年度の電力自由化に伴い、一般家庭向けにも「電力の見える化」サービスの提供を開始し、需要家の省エネルギー意識の喚起に努めています。

・需要家から要望があった場合にはCO2排出係数の説明を随時行っています。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・環境ハイオクガソリン「ENEOS NEW ヴィーゴ」、バイオマス燃料など、当社グループの環境配慮商品の普及促進に努めています。  
・社会貢献活動の一環として「公益信託ENEOS水素基金」を創設し、水素エネルギー供給に関する基礎研究に対し助成金を支給し、安定的な研究の継続を助成しています。  
・世界銀行コミュニティ開発炭素基金(CDCF)に出資し、世界銀行を通じて途上国が行う地球温暖化ガス排出削減の小規模プロジェクト(風力や太陽光などの再生可能エネルギー)を支援しています。  
・全国でメガソーラー発電事業を展開し、17か所約41MWの売電を行っています。(2016年度実績)  
・秋田県および神奈川県で風力発電事業を展開し、2か所3MWの売電を行っています。(2016年度実績)  
・油田・ガス田、工場、火力発電所などから排出される大量のCO2を分離・回収、地中1,000メートルより深くに圧入し、貯留するCCS技術を支援するために日本CCS調査株式会社に出資しています。  
・NPO法人野生生物保全論研究会、公社国土緑化推進機構への寄附を通じて森林の保全・育成を支援しています。



# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	JXTGエネルギー株式会社 代表取締役社長 杉森 務
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区大手町一丁目1番2号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業 2015年度から工場、ビル、商業施設等の特別高圧ならびに高圧のお客さま向けに電力を販売しております。 2016年4月からは全面自由化された低圧のお客さま向けに電力販売を開始いたしました。 特別高圧ならびに高圧は東北・東京・中部・関西エリアで、低圧は東京・中部・関西エリアで事業を実施しております。</p> <p>・発電事業 弊社川崎工場の発電設備を活用し、事業を実施しております。</p> <p>※本報告書では旧東燃ゼネラル石油株式会社の実績を報告いたします</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	リソーシズ&パワーカンパニー 電力事業企画部 電力業務グループ	
	連絡先	電話番号	03-6257-7246
		ファクシミリ番号	03-6213-3482
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	リソーシズ&パワーカンパニー 電力事業企画部 電力業務グループ	
	連絡先	電話番号	03-6257-7246
		ファクシミリ番号	03-6213-3482
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	<a href="http://www.noe.jxtg-group.co.jp/csr/">http://www.noe.jxtg-group.co.jp/csr/</a>		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	24

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.506	0.482	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.484	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.483	0.446	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<p>・排出係数の削減のため、再生可能エネルギー由来の電源調達の検討を行いました。</p>
---

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<p>・北海道室蘭市において当社の遊休地を活用し、バイオマス発電事業への出資を決定いたしました。</p>
--

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギー等による発電計画は現状ありません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・弊社が検討を進めている清水天然ガス発電所において高効率発電技術の導入を検討しています。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客さま専用Webサイト等を通じて日々の電気消費量や過去の電気料金等を確認できるサービスを提供し、省エネ意識の喚起に努めています。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・資源エネルギー庁が2010年4月に施行した改正省エネ法におけるエネルギーベンチマークの目標達成業者を公表しております。弊社は、石油精製業界における目標達成事業者として唯一2012年度から5年連続達成し、公表されました。  
・また、弊社中期経営計画においては、年率1%の改善という省エネ目標を掲げております。これは年間5万トンのCO2排出量削減に相当します。このように引き続き省エネを通じて温室効果ガスを下げるため積極的な取り組みを継続してまいります。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム足立 代表取締役社長 石渡 一樹
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒120-8576 東京都足立区綾瀬2丁目28番6号 第三山崎ビル

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	3.78

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	1,065	16.50%
(FIT電気)	-	-	1,065	16.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコムイースト 代表取締役社長 本多 勉
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	21.32

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.636	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	5,914	16.22%
(FIT電気)	-	-	5,914	16.22%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。



## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム大田 代表取締役社長 柳田 聡
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-20-5 第七醍醐ビル

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	2.92

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.637	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	825	16.51%
(FIT電気)	-	-	825	16.51%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム多摩 代表取締役社長 谷津 幸利
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒190-8539 東京都立川市栄町6丁目1番地1 立飛ビル6号館別館

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2017年08月01日	～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	3.85

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	1,085	16.50%
(FIT電気)	-	-	1,085	16.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム東葛葛飾 代表者 野中 範郎
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3丁目55番地

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp



第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	2.36

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.637	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	666	16.50%
(FIT電気)	-	-	666	16.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム東京 代表取締役社長 國分 孝夫
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒177-0033 東京都練馬区高野台五丁目22番1号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	15.85

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.637	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	4,470	16.50%
(FIT電気)	-	-	4,470	16.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム東京北 代表取締役社長 新井 博
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒114-0002 東京都北区王子1丁目13番14号 朝日生命王子ビル5階

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	2.42

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	684	16.51%
(FIT電気)	-	-	684	16.51%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。



## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム中野 代表取締役社長 内藤 一彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒164-0001 東京都中野区中野2丁目14番21号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	2.23

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	629	16.48%
(FIT電気)	-	-	629	16.48%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム八王子 代表取締役社長 蒲原 正之
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒192-0083 東京都八王子市旭町11番8号 アクセシビル5階

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	3.53

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	996	16.50%
(FIT電気)	-	-	996	16.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム日野 代表取締役社長 西村 秀雄
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒191-0011 東京都日野市日野本町4-2-2

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1.84

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	519	16.50%
(FIT電気)	-	-	519	16.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。



## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム港新宿 代表取締役社長 前田 泰洋
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目3番4号 ラウンドクロス芝大門 2F

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	2.42

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	681	16.49%
(FIT電気)	-	-	681	16.49%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム武蔵野三鷹 代表取締役社長 榎本 一夫
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒181-0013 東京都三鷹市下連雀8-10-16 セコムSCセンター

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社ジュピターテレコム エネルギー事業推進部	
	連絡先	電話番号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

## 第2号様式 その2

### (4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で問合せ対応			

### 2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	2.81

### 3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.585	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.638	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。

### 4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	794	16.51%
(FIT電気)	-	-	794	16.51%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の再生可能エネルギー利用率は39.40%、FIT電気の利用率は18.98%になります。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は電源調達をサミットエナジー株式会社に委託しているため、電源調達に係る取組方針については、サミットエナジー株式会社の方針に準じます。なお、調達元であるサミットエナジー株式会社の前年度の未利用エネルギー利用率は1.12%になります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。  
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。  
「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています。(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます。)

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取り組みを行っております。

# エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

### (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	四国電力株式会社 取締役社長 佐伯 勇人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒760-8573 香川県高松市丸の内2番5号

### (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■ 資本金: 1455億円 (2016年度末)</p> <p>■ サービス区域: 徳島県、高知県、愛媛県(一部を除く)、香川県(一部を除く)、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県(富士川以東)、大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県、兵庫県(赤穂市福浦を除く)、福井県(三方郡美浜町以西)、三重県(熊野市の一部、南牟婁郡紀宝町、南牟婁郡御浜町)、岐阜県(不破郡関ヶ原町の一部)</p> <p>■ 発電設備 (2016年度末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水力発電所 : 58箇所 114万7千kW</li> <li>・火力発電所 : 4箇所 373万6千kW</li> <li>・原子力発電所 : 1箇所 145万6千kW</li> <li>・太陽光発電所 : 1箇所 2千kW</li> </ul> <p>&lt;合計&gt;64箇所 634万1千kW</p> <p>■ 契約口数: 286万6千口 (2016年度末)</p> <p>■ 取締役社長: 佐伯 勇人</p>

### (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	四国電力株式会社 総合企画室 環境部 温暖化対策グループ	
	連絡先	電話番号	087-821-5061
		ファクシミリ番号	087-825-3029
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	四国電力株式会社 総合企画室 環境部 温暖化対策グループ	
	連絡先	電話番号	087-821-5061
		ファクシミリ番号	087-825-3029
		電子メールアドレス	



第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2017年08月01日	～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	電話またはFAXにてご連絡いただければ対応いたします。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1(実排出量)

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率	
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.510		100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	0.760		
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.529		

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

○伊方発電所の安全・安定運転や火力発電所の熱効率の維持・向上などに取り組み、CO<sub>2</sub>排出係数の極力低減に努めています。  
○当社は電気事業低炭素社会協議会に参加し、電気事業全体で2030年度にCO<sub>2</sub>排出係数0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWh程度を目指しています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	571	24.51%
(FIT電気)	-	-	242	10.38%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

○当社は、次のような方策に取り組むことで再生可能エネルギーを極力活用しています。  
・水力発電所の設備更新の機会を捉え、高効率水車を採用することで発電効率の向上を図り、出力増強に取り組む。  
・太陽光・風力などの電力購入を通じて、その普及促進に協力していく。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	150	6.45%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

○当社は副生ガス、廃棄物等の未利用エネルギーを利用した発電を極力活用しています。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

○当社および当社の子会社は都内には火力発電所を所有していません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

○お客さまに効率的に電気をお使いいただけるよう、ホームページやパンフレットなどを通じて、省エネルギーについての情報を提供しています。  
○当社の会員制無料Webサイト「よんでんコンシェルジュ」を通じて、月別・日別の電気ご使用量やCO2排出量等の見える化(環境家計簿等)および、省エネ情報の提供などを積極的に行っております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

○当社は、  
・オフィスの電気使用量の削減  
・電気自動車・プラグインハイブリッド車を含む低公害車率の向上  
・廃棄物の削減・有効利用  
等を実施している他、  
・SF6ガスの高回収率の維持  
・特定フロン等の適正管理  
等を通して地球温暖化対策の推進を実施しています。

# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社シナジアパワー 取締役社長 武山 徳彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都台東区北上野1-9-12 住友不動産上野ビル7F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	◆電力小売事業 弊社は2016年4月より、北関東を中心とする 関東圏の 高圧・特別高圧のお客さまに電力を販売しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	企画総務部	
	連絡先	電話番号	03-5830-1191
		ファクシミリ番号	03-3845-8385
		電子メールアドレス	info@synergiapower.co.jp
公表の 担当部署	名称	企画総務部	
	連絡先	電話番号	03-5830-1191
		ファクシミリ番号	03-3845-8385
		電子メールアドレス	info@synergiapower.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年10月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署にて適宜開示する				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	0.06

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.473	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	—	—	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.437	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

出資会社(東北電力株式会社、東京ガス株式会社)より天然ガスを燃料とする高効率コンバインドサイクル発電設備からの電源調達をはじめ、水力発電、地熱発電、風力発電などの再生可能エネルギーを含む電源を継続して調達しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	0	0.00%
(FIT電気)	—	—	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

主に東北電力株式会社より、水力発電、地熱発電、風力発電などの再生可能エネルギーを含む電源を継続して調達しております。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	—	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

主に東北電力株式会社より、廃棄物発電などの未利用エネルギーを含む電源を継続して調達しております。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社では火力発電所を保有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客様の省エネルギーニーズ、温暖化対策に係るニーズに対し、エネルギー分野における経験が豊富な東北電力株式会社、東京ガス株式会社およびそれらの関係会社をご紹介できる体制を整えております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

◆オフィスにおける夏季の軽装化や、不要照明の消灯などの施策を行い、オフィスにおけるエネルギー使用量の削減に努めております。

◆温室効果ガス排出抑制を意識し、営業活動等において極力公共輸送機関を利用しております。

# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	シナネン株式会社 代表取締役 田口政人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区海岸一丁目4番22号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売事業 シナネン株式会社は、オフィスビルや工場、倉庫等の特別高圧・高圧需要家や低圧需要家への電力小売事業を行っております。</p> <p>・発電事業 小売事業実施のために、群馬県及び静岡県、福島県に太陽光発電所を所有しています。</p> <p>・その他 省エネやコスト削減に関する、総合的な診断及び提案を行い、ワンストップでサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物、室内環境設備を加えた総合省エネ診断で運用改善提案</li> <li>・最適なエネルギー調達改善提案</li> <li>・機器入替え等による、設備改善提案</li> </ul>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-5470-7332
		ファクシミリ番号	03-5470-7187
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-5470-7332
		ファクシミリ番号	03-5470-7187
		電子メールアドレス	

## 第2号様式 その2

### (4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で適宜開示します。			

### 2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	5	11.06

### 3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.310	0.469	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.001	0.587	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.345	0.521	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・J-クレジットを購入し、33,000t-CO<sub>2</sub>を無効化し、温対法に基づく調整後排出係数を削減しました。  
 ・廃棄物発電を購入し、排出係数の削減を目指しています。

### 4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	2,129	12.75%	3,493	14.81%
(FIT電気)	2,129	12.75%	3,329	14.11%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

福島県に太陽光発電所を建設し、運開している。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
5,201	31.16%	57	0.24%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

清掃工場の余剰電力買取入札に参加し、2工場からの買取を実施している。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家の省エネ要望に役立つような使用電力の分析を行い、省エネ提案を実施しています。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・使用電力の削減提案を実施しています。
- ・照明や空調の使用方法、事務機器の利用方法のルール化等により、運用改善を実施しております。
- ・照明や空調、給湯器、コジェネ等の設備改善の提案を実施しています。
- ・クールビズ等の実施により、省エネに努めております。



## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	清水建設株式会社 取締役社長 井上和幸
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区京橋二丁目16番1号

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は2016年11月よりオフィスビルや工場といった需要家などへの小売を目的とした電力小売事業を実施しています。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	LCV事業本部 エネルギー運営事業部	
	連絡先	電話番号	03-3561-1601
		ファクシミリ番号	03-3561-8519
		電子メールアドレス	pps_lg@shimz.co.jp
公表の 担当部署	名称	LCV事業本部 エネルギー運営事業部	
	連絡先	電話番号	03-3561-1601
		ファクシミリ番号	03-3561-8519
		電子メールアドレス	pps_lg@shimz.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署への連絡				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	0.94

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.539	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	—	—	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	—	0.504	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

2016年度は主に日本卸電力取引所から調達をし、一部を未利用エネルギー等を利用した発電(荏原環境プラント)から調達しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	0	0.00%
(FIT電気)	—	—	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では再生可能エネルギーによる電力調達はありますが、次年度以降の調達を計画しています。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	—	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等の利用については検討中です。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・自社火力発電所なし

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家の30分毎の電力使用状況を分析し、設備機器の省エネ運転など施設運営への提案を行いました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

中央区の本社建物では、輻射空調・デシカント調湿、LED照明、グラデーションブラインド、外装PV発電などの技術を駆使し、夏のクールビズ、不要時のパソコン電源のOFF等の取組と合わせ、通常オフィスビルに比べて50%のCO2削減を行いました。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	昭和シェル石油株式会社 代表取締役社長 グループCEO 亀岡 剛
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒135-8074 東京都港区台場2丁目3番2号 台場フロンティアビル

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■小売電気事業 自社所有の発電所を電源とし、高圧電力小売販売に加え、2016年4月より自由化された家庭向け低圧電力小売り事業を開始しています。</p> <p>■発電事業 高効率大型天然ガス火力発電所「扇島パワーステーション」、バイオマス燃料を使用する「京浜バイオマス発電所」などの自社発電源を大消費地である京浜地区に有しており、国内電力の安定供給に貢献するとともに、持続可能かつ環境に優しい電力供給に取り組んでいます。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力需給部企画課	
	連絡先	電話番号	03-5531-5668
		ファクシミリ番号	03-5531-5788
		電子メールアドレス	power-pla@showa-shell.co.jp
公表の 担当部署	名称	電力需給部企画課	
	連絡先	電話番号	03-5531-5668
		ファクシミリ番号	03-5531-5788
		電子メールアドレス	power-pla@showa-shell.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署にて適宜開示します。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	71	95

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.299	0.297	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.270	0.225	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.388	0.454	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

省エネルギー性に優れたガスタービンコンバインドサイクルを採用し、高負荷・高効率運転に努め、CO<sub>2</sub>削減を図っています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	51,148	21.54%	117,395	36.53%
(FIT電気)	51,148	21.54%	117,395	36.53%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2015年11月に運転開始した当社出資会社(株)京浜バイオマスパワーのバイオマス火力発電設備(発電出力4.9万kW)が前年は通年稼働しています。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等による発電はありません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・最適なポートフォリオによる販売計画および日々の需要予測の精度向上により、設備利用率を向上、効率の向上に努めました。  
・扇島パワーは、発電効率約58%の省エネルギー性に優れたガスタービン複合発電設備です(当社取り分約300MW)。同発電設備において、経年劣化による効率低下を回復させるため、定期的なメンテナンスを実施しました。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・CO2排出係数や電源構成を開示する等情報提供を行っています。  
・お客様の省エネルギー対策をサポートするため、小売電気事業において需要家に対し過去リアルタイムの消費電力量を提供できるウェブサイトを構築しています。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・2016年のグループ製油所のエネルギー消費原単位は7.48(原油換算KL/換算通油量千KL)となり、1990年比21%の削減となり、年平均約1%程度の消費原単位削減を達成しています。  
・自家所有450か所のサービスステーション(SS)、および太陽電池工場などに自社グループで生産した太陽電池パネルを設置し、発電したエネルギーを自家利用しています。太陽電池工場の敷地内に設置されているソーラーパネルが発電する電力のうち3MWは工場内で自家使用しています。  
・環境問題および地球温暖化対策をテーマとした子どもエネルギー教室を昭和シェル石油本社のある台場地区の近隣小学校や、新潟にある「新潟雪国型メガソーラー」に併設する研修施設等で実施し、2016年は386名の子どもたちが参加しました。  
・東日本大震災に起因する国内電力需給問題への対応として、2011年から2012年にかけてソーラーフロンティアの太陽電池パネルを、当社所有のSSに設置を進めました。2016年末現在、450か所のSSで、照明などの電力を賄っています。また、新規出店や改造の際にはLED照明を採用し、節電効果を上げています。

# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社新出光 代表取締役 出光泰典
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市博多区上呉服町1-10

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力小売事業</li> <li>・石油類の販売 ・LNG(液化天然ガス)、LPGの販売</li> <li>・太陽光発電システムの販売、蓄電池の販売(設計・施行)</li> <li>・レンタカー、新中古車販売・買取、カーケアショップの運営</li> <li>・アドブルー、LEDの販売 ・コインランドリーの運営 ・使用済み油脂・水溶性液剤の出張ろ過処理サービス</li> <li>・EMS</li> </ul>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギー事業部 電力事業課	
	連絡先	電話番号	092-291-4160
		ファクシミリ番号	092-271-0946
		電子メールアドレス	idexg00126@idex.co.jp
公表の 担当部署	名称	エネルギー事業部 電力事業課	
	連絡先	電話番号	092-291-4160
		ファクシミリ番号	092-271-0946
		電子メールアドレス	idexg00126@idex.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年09月01日 ~ 2018年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	本社3F電力事業課
		所在地:	福岡県福岡市博多区上呉服町1番10号
		閲覧可能時間	平日9:00 ~ 17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	2

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.415	0.476	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	0.904	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.516	0.496	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーを利用した電気の調達促進、およびCO <sub>2</sub> 排出クレジットの購入
---

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	76	14.75%	331	8.08%
(FIT電気)	76	14.75%	331	8.08%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーを利用した電気の調達促進
-----------------------



## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの調達を検討したが、調達可能な電源がなかった。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社火力発電所は保持していない。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家へWEB上での電気使用量の提供。
- ・需要家へ最大需要電力が設定値を超えた場合にメールで通知する。
- ・需要家へのEMSによる省エネ提案

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 藤原 真一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都品川区大崎一丁目5番1号 大崎センタービル

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"><li>電力供給事業 弊社は、工場やオフィス、商業施設といった事業所への電力小売を実施しております。主な供給力として、他社発電所(工場等の自家用発電設備の余剰等)・卸電力取引所などから電力の調達を行っております。</li><li>発電事業 小売電気事業実施のために、約10万kWの自社等火力発電所を運営しています。</li></ul>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギーソリューション事業部 電力ビジネス部	
	連絡先	電話番号	03-6665-3560
		ファクシミリ番号	03-6665-4826
		電子メールアドレス	power-business@eng.nssmc.com
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

## 第2号様式 その2

### (4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日 ~ 2018年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	新日鉄住金エンジニアリング(株)本社
		所在地:	東京都品川区大崎一丁目5番1号
		閲覧可能時間	10:00~16:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

### 2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	407	345

### 3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.635	0.660	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.657	0.690	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.633	0.656	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

発電設備の燃料消費量・CO<sub>2</sub>の抑制に向けて、効率的稼働を目指した計画策定等に努めました。また、卸電力取引所の活用等においても、発電設備の効率的な稼働を視野に入れた調達に努めることで、削減に取り組みました。

### 4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	22,809	3.56%	24,164	4.63%
(FIT電気)	20,526	3.20%	22,300	4.27%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・北九州市響灘地区において15,000kWの風力発電所(関連子会社)をH15/3から運転開始し、九州電力殿向けに売電を行っております。  
 ・再生可能エネルギーの利用促進に向け、弊社グループが運営を委託されている廃棄物処理施設の余剰電力や弊社グループの太陽光発電設備からの受電を開始し、更なる活用等の検討を継続しております。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
14,110	2.20%	12,470	2.39%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・弊社グループが運営を委託されているごみ処理施設からの余剰電力を小売電気事業用に活用しております。また新日鐵住金グループで使用する電気の一部は「工場の廃熱又は排圧」を利用した発電(CDQ:コークス乾式消火、TRT:高炉頂圧回収タービン)により賄う等、未利用エネルギーの活用に取り組んでおります。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・発電設備の平均稼働出力を向上させることで、機関の熱効率の向上を図ることや、補機の稼働台数を減らすなど所内動力の抑制・送電端での電力利用の向上を図ること等を、継続的に取り組んでおります。・他社等発電設備については、CO2排出量の把握への協力を通じ、発電所の稼働状況の把握に努めております。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家・発電家の要望に応じ、お客さま専用Webサイト等を通じた現在の消費・発電電力量の情報提供を行っております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・「電気事業低炭素社会協議会」に参加し、自社取組計画を確実に遂行することで、低炭素社会の実現に向けて取り組んで参ります。  
・新日鐵住金グループとして、製鉄所やオフィスでの一層の省エネ努力に加え、製鉄所の発電設備を活用した電力会社への電力供給や、従業員に対する家庭での環境家計簿を利用した省エネの呼びかけ等を行い、当面のエネルギー需給対策に貢献しております。 また、3つのエコ  
・エコプロセス（事業活動の全段階における環境負荷の低減）  
・エコプロダクツ®（環境配慮型製品の提供）  
・エコソリューション（地球全体を視野に入れた環境保全への解決提案）  
と革新的技術開発による低炭素社会実行計画を推進しております。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	ズームエナジージャパン合同会社 執務執行者 岸田 修一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区浜松町1-10-17Koyoビル6F

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 一般家庭、および低圧の業務用需要家向け電力小売事業

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電気供給部	
	連絡先	電話番号	03-4572-1472
		ファクシミリ番号	03-6800-2997
		電子メールアドレス	<a href="mailto:xej-supply@xoomenergy.com">xej-supply@xoomenergy.com</a>
公表の 担当部署	名称	電気供給部	
	連絡先	電話番号	03-4572-1472
		ファクシミリ番号	03-6800-2997
		電子メールアドレス	<a href="mailto:xej-supply@xoomenergy.com">xej-supply@xoomenergy.com</a>

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せがあった場合に提供			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.001

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.531	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.496	
			100%

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

事業立ち上げ後間もない事もあり、排出係数の削減目標は未設定。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0
(FIT電気)	-	-	0	0

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

事業立ち上げ後間もない事もあり、再生可能エネルギーの供給はなし。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現状、未利用エネルギーの供給なし。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現状、火力発電所の所有なし。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

検討中。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

検討中。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社S-CORE 代表取締役 今井 隆志
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地1

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力の売買・仲介/電気小売り事業  【供給エリア】 東京電力管内(一部離島を除く)  【供給対象】 電圧区分が高圧の法人需要家  【特徴】 CO2排出量の少ない電力を使いたいというご要望にお応えするため、太陽光やバイオマス由来の再生可能エネルギーを中心に扱い、小売供給を行っています。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	需給マネジメント部	
	連絡先	電話番号	03-5284-7806
		ファクシミリ番号	03-5284-9806
		電子メールアドレス	s-core@eneres.co.jp
公表の 担当部署	名称	需給マネジメント部	
	連絡先	電話番号	03-5284-7806
		ファクシミリ番号	03-5284-9806
		電子メールアドレス	s-core@eneres.co.jp



第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	公表依頼があれば都度開示				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.37	0.83

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.158	0.114	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.391	0.393	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

需要量の変動に応じて、再生可能エネルギーが活用できるよう、電源調達量の調整を実施しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	2,094	89.92%	7,331	100.00%
(FIT電気)	1,097	47.12%	4,252	58.81%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

需要量の変動に応じて、再生可能エネルギーが活用できるよう、電源調達量の調整を実施しました。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用に関して取組は実施していません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で火力発電所を保持しておらず、取組は実施しておりません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家への働きかけは実施しておりません。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

温対法に基づく調整後排出係数については、調整後排出係数がゼロとなるよう、クレジット取引を実施しました。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	鈴与商事株式会社 代表取締役社長 加藤 正博
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	静岡県静岡市葵区栄町1-3

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業 弊社は、一般家庭および工場や事務所といった大口需要家などへの電気小売を目的とした事業を実施します。</p> <p>・その他 大口需要家に対しては、お客様のエネルギーコスト削減をサポートする為、お客様の30分毎の電力使用データを基に、毎月電力使用実績を送付し、電力の運用改善の提案をしております。 また、省エネ対策として、空調・LEDの更新等による機器改善のご提案を行っております。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギーシステム営業部 電力営業課	
	連絡先	電話番号	054-273-7761
		ファクシミリ番号	054-273-7794
		電子メールアドレス	power-management@ss.suzuyoshoji.co.jp
公表の 担当部署	名称	エネルギーシステム営業部 電力営業課	
	連絡先	電話番号	054-273-7761
		ファクシミリ番号	054-273-7794
		電子メールアドレス	power-management@ss.suzuyoshoji.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日 ~ 2018年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	鈴与商事株式会社
		所在地:	静岡県静岡市葵区栄町1-3
		閲覧可能時間	9:00~17:55
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.435	0.475	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.556	0.527	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

温対法における調整後CO<sub>2</sub>排出係数削減のため、Jクレジットを利用したCO<sub>2</sub>排出係数の低減を行っております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	192	13.92%	58	3.31%
(FIT電気)	192	13.92%	58	3.31%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2016年度より、中部電力管内において、静岡市沼上清掃工場から、バイオマス発電による電力の調達を開始しました。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2016年度より、中部電力管内において、静岡市沼上清掃工場から、廃棄物の燃焼に伴い発生する熱を利用した電力の調達を開始しました。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現時点では、自社及び子会社が所有する火力発電所はございません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客様のエネルギーコスト削減をサポートする為、お客様の30分毎の電力使用データを基に、毎月電力使用実績を送付し、電力の運用改善の提案を行いました。

また、省エネ対策として、空調・LEDの更新等による機器改善のご提案を実施しました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

弊社の本社所在地である静岡県において、県内のCO2排出量削減プロジェクトにて創出されたJ-クレジットを活用し、カーボンフリー(CO2排出量ゼロ)の電力を供給する取り組みを開始しました。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社スマートテック 代表取締役 小寺 雄三
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	茨城県水戸市赤塚1-16 エスコート赤塚ウエスト A202

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 当社は「スマートシティ構想」に基づき、その実現の為の一環として高圧需要家並びに低圧需要家への電力供給を実施致します。

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-5928-3601
		ファクシミリ番号	03-5928-3602
		電子メールアドレス	<a href="mailto:smart-denki@smart-tech.co.jp">smart-denki@smart-tech.co.jp</a>
公表の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-5928-3601
		ファクシミリ番号	03-5928-3602
		電子メールアドレス	<a href="mailto:smart-denki@smart-tech.co.jp">smart-denki@smart-tech.co.jp</a>

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	<a href="http://www.smart-tech.co.jp/">http://www.smart-tech.co.jp/</a>		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.61

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.530	100%
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.494	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数削減のため再生可能エネルギーの取り入れを目標としていたが、電力小売初年度であったこともあり発電者との契約までは至らず、昨年度としては未達成となった。  
今年度においては再エネ特定卸供給契約などを活用し、排出係数の削減を図る予定。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

■再生可能エネルギーの利用促進対策としての具体的な取組実績  
 ・一般家庭向けの太陽光発電の買取を推進  
 ・需要家への電力供給は順次再生可能エネルギーの使用にシフトさせる予定

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・現在、未利用エネルギー等を利用した発電による電気を供給していません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・現在、当社による火力発電所は運営していません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

##### ■ 都内の電気需要者への地球温暖化対策への働きかけに関する進捗状況

- ・HEMS等を活用した、電力の「見える化」を通じて電力消費の最適化を推進しております。
- ・需要家への省エネ意識向上として、「定額プラン」のメニューを新たに設定し、需要家側で節電のアクションを起こす仕組みをご提案しております。
- ・顧客インセンティブとして、電力消費量の低減分に応じた節電ポイントを付与する取組みも同時に展開し、電力を節約することによる省エネ及び電気料金節約のご案内を進めております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・当社において、スマートハウス(：太陽光発電システムや蓄電池などのエネルギー機器、家電、住宅機器などをコントロールし、エネルギーマネジメントを行うことで、CO2排出の削減を実現する省エネ住宅)の提案を進めており、弊社における太陽光発電による電力購入量を前年比並とする予定としております。



# エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

### (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社生活クラブエナジー 代表取締役 半澤 彰浩
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋人形町1-6-9

### (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■小売電気事業</p> <p>・弊社は、2015年4月1日より、東京電力管内にて生活クラブ生活協同組合を始めとする需要家(配送センター、店舗、工場等)へ小売事業を開始し、2016年4月1日より、北海道・東北・中部・関西電力管内の生活クラブ生協事業所、同年6月1日から東京電力管内にて組合員(一般)家庭でも小売事業を開始しております。</p> <p>■その他</p> <p>・市民によるエネルギーの自治(市民が自分たちで使うエネルギーを選択し、参加できる社会づくり)に取り組みます。</p> <p>・省エネルギー診断業務や省エネ対策の情報提供等を行っています。</p>

### (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	事業管理部	
	連絡先	電話番号	03-5643-0370
		ファクシミリ番号	03-5643-0371
		電子メールアドレス	sce@scenergy.co.jp
公表の 担当部署	名称	営業部	
	連絡先	電話番号	03-5643-0370
		ファクシミリ番号	03-5643-0371
		電子メールアドレス	sce@scenergy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(営業部)に問い合わせ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.319	0.204	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.292	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.392	0.372	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの利用促進に努めております

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1,060	49.95%	2,146	37.45%
(FIT電気)	391	18.43%	2,146	37.45%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの調達に努めております。  
自社電源は保有していません。

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用等調達実績はありません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社等で保有する火力発電所はありません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

生活クラブ生協組合員を対象に、省エネ講座を隣接県を含め13会場(18会場)で実施し、273名(378名)の参加がありました。「()内は全国数」

2015年7月に環境省「うちエコ診断補助事業」の申請を行い、認定を受けました。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・地域間連携の一環として再生可能エネルギーの調達をすすめていく中で、2016年度は首都圏の市民団体が保有する2発電所からの調達をすすめました。
- ・生活クラブグループでは、2020年までにCO2排出総量を25%削減(2007年度比)することを目標としており、2015年度は15,995トンのCO2を削減しました。(※生活クラブグループでは総合物流施設が本格稼働した年度であることに鑑み、2007年度を基準年として長期削減計画を策定しています。)

# エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	全農エネルギー株式会社 代表取締役社長 平井 信弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区猿楽町一丁目5番18号(千代田ビル)

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 北海道・沖縄を除く全国エリアにおいて、他社からの購入電源を用いてJAグループ施設へ電力供給を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-6630-8830
		ファクシミリ番号	03-6630-8825
		電子メールアドレス	<a href="mailto:denryokujigyou@zec.jp">denryokujigyou@zec.jp</a>
公表の 担当部署	名称	電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-6630-8830
		ファクシミリ番号	03-6630-8825
		電子メールアドレス	<a href="mailto:denryokujigyou@zec.jp">denryokujigyou@zec.jp</a>

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日		～	2018年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署での問合せ対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.04

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.465	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	-	-	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	-	0.429	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・排出係数の低い発電設備から調達を行うことで、排出係数低減に努めました。
--------------------------------------

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・親会社と協力し再生可能エネルギーからの調達を増やすことを検討しましたが、昨年度は調達していません。
--

## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・親会社と協力し廃棄物発電等からの電源調達を検討しましたが、昨年度は調達していません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・弊社は火力発電所を保有していません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客様にて電気使用量を確認できるシステムを導入することで、お客様と共に省エネ・温室効果ガスの低減に取り組めます。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・自社発電所として、太陽光発電に取り組んでいます。  
・オフィスの空調は夏28℃、冬20℃の設定とし、夏はクールビズを実施しています。

## エネルギー状況報告書

## 1 特定エネルギー供給事業者の概要

## (1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	総合エネルギー株式会社 代表取締役社長 加藤 寛彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋浜町3-3-2

## (2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
都内供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業</p> <p>東京電力管内において電力小売事業を行っております。 2014年4月より高圧需要家(オフィスビル、店舗、工場、ガソリンスタンド等)へ供給を開始、低圧分野は2016年4月よりガソリンスタンド中心に供給を開始いたしました。</p>

## (3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	経営企画部 新規事業開発グループ	
	連絡先	電話番号	03-5642-8758
		ファクシミリ番号	03-5642-8742
		電子メールアドレス	<a href="mailto:denki@so-go-enevy.com">denki@so-go-enevy.com</a>
公表の 担当部署	名称	経営企画部 新規事業開発グループ	
	連絡先	電話番号	03-5642-8758
		ファクシミリ番号	03-5642-8742
		電子メールアドレス	<a href="mailto:denki@so-go-enevy.com">denki@so-go-enevy.com</a>

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2017年08月01日 ~ 2018年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	総合エネルギー株式会社 本社
		所在地:	東京都中央区日本橋浜町3-3-2
		閲覧可能時間	9:00~17:30
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量  
(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

項目	前々年度	前年度
排出量	2	2

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況  
(単位 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO <sub>2</sub> 排出係数	0.685	0.715	
(火力発電のCO <sub>2</sub> 排出係数)	0.712	0.728	
調整後CO <sub>2</sub> 排出係数	0.658	0.679	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

電源調達において排出係数を考慮して仕入先等の選択を行ってまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では具体的な取組実績等はございません。



## 第2号様式 その3

### 5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

#### (1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では具体的な取組実績等はありません。

#### (2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で保有する火力電力発電所はありません。

#### (3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要者に対しWebサービスを用意し、電力の使用状況を確認できるよう働きかけております。

#### (4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

省エネ法上の特定荷主として、自社の貨物輸送に係るエネルギー使用の合理化に取り組んでおります。

事務所における省エネ対策として、温度接待による空調運転、昼休憩時の照明の消灯、クールビズの実施等の取り組みを実施しております。